

平成26年度  
教育委員会予算要求方針

【目次】

- 1 平成26年度教育委員会予算要求総括表及び経営方針・・・1
- 2 重点的に取り組みを行う主なもの・・・・・・・・・・・・・・6

# 1 平成26年度教育委員会予算要求総括表及び経営方針

## (1) 平成26年度教育委員会予算要求総括表

### 【一般会計】

平成26年度要求総額	25,961,705千円
(平成25年度予算額	20,257,270千円)
前年度比	+28.2%

※職員給与費を除く

### 《主な事業》

(単位：千円)

事業名	平成26年度 予算要求額 (A)	平成25年度 予算額 (B)	増減 (A-B)
(仮称)「こどもひまわり学 習塾」事業	33,716	0	33,716
学校の読書活動推進事業	99,667	57,000	42,667
東部地域における特別支援 学校の整備	762,110	280,000	482,110
総合療育センター再整備に 伴う特別支援学校整備事業	301,323	0	301,323
不登校・いじめ対策の充実	197,579	188,512	9,067
耐震補強事業	2,015,184	2,130,000	▲114,816
学研地区における小学校新 設事業	893,139	11,000	882,139
中央図書館耐震補強工事	13,533	0	13,533
学校支援地域本部事業	25,200	16,800	8,400

## (2) 平成26年度教育委員会経営方針

教育委員会では、「元気発進！北九州」プランの部門別計画である「北九州市子どもの未来をひらく教育プラン」及び「北九州市生涯学習推進計画」を着実に推進する。

子どもの教育の分野では、依然として全国平均を下回っている子どもの学力・体力や、東日本大震災の教訓を踏まえた防災・安全教育の推進、いじめ問題等の課題などを踏まえ、現在、教育プランの見直しを行っている。平成26年度は、改訂した計画の初年度となることから、市民への積極的な広報・啓発を行うとともに、計画に掲げる施策の実現に向けて、各取組みを強力に推進する。

また、生涯学習の分野では、生涯学習推進計画に掲げる「市民が学び、つどい、輝くまち、北九州市をめざして」を目標に、まちづくりを支える人材の育成に向けた取組みの一層の充実を図るとともに、現計画が平成27年度に終了することから、新たな計画の策定に向けた調査、検討を行う。

さらに、「緑の成長戦略で、人にやさしく元気な街づくり！」に掲げられた、確かな学力を身につけるための新たな学習支援や、経済界との連携による学校支援など、子どもたちがいきいきと学習や活動ができるよう必要な取組みを進める。

### 子どもの教育に関する分野

#### ① 思いやりの心をもつ、自立した子どもをはぐくむ

##### ○心の育ちの推進

- ・教育活動全体を通じて児童生徒の道徳的実践力や人権感覚をはぐくみ、規範意識の向上を図るため、道徳教育、体験活動などを充実するとともに学校行事などを通して児童生徒のコミュニケーションや人間関係づくりを促す。
- ・生徒指導体制の充実などにより、いじめ等問題行動について「いじめの根絶を目指し、発生を許さない」という強い認識に立ち未然防止に取り組む。

##### ○確かな学力の向上

- ・学習意欲を高める授業づくりを支援し、基礎的・基本的な知識・技能の定着とともに、それらを活用する力を高める。
- ・家庭と連携・協力して、家庭での学習習慣の定着化を図るとともに、地域や大学生等の協力を得ながら子どもたちに放課後等の学習支援を行い、基礎的・基本的な学力の確実な定着を図る。さらに、各教科等での積極的なICT活用の推進に努め、児童生徒のICTを活用する能力を育成する。

- ・学校図書館嘱託職員やブックヘルパーの活用による学校図書館の活用や充実を通して、読書習慣の定着を図る。

#### ○健やかな体の育成

- ・オリジナルダンスDVDの一層の活用による授業の工夫改善や、授業以外での学校全体での年間を通じた取組みの充実により、運動習慣の定着や体力の向上を図る。さらに、部活動を通して良好な人間関係の構築を図るとともに、生徒の健全な心と体を育む。
- ・学校給食を生きた教材とし、小・中学校 9 年間を通じて子どもの発達段階に応じた食育指導を引き続き行うとともに、安全・安心で栄養バランスのとれた魅力ある美味しい給食を提供する。

#### ○子どもの意欲を高め、特性を伸ばす教育の推進

- ・小学校の授業等においてALTを活用したり、中学生が自己の英語力を試したりする機会を充実させ、児童生徒の英語を使ったコミュニケーションに対する意欲を高める。
- ・小学校4年生全員が学習する環境体験科などの特色ある環境教育に加えて、牛乳パックリサイクルモデル事業の実施校を拡大するなど、学んだことと実社会とのつながりを感じ取ることができる教育活動を進め、子どもの意欲を高める。

#### ○特別支援教育の充実

- ・特別支援教育を推進する体制の充実を図るとともに、教職員の専門性の向上や保護者・市民への理解啓発を行う。
- ・児童生徒の増加に伴う東部地域の特別支援学校の新設や、複数障害種を対象とする特別支援学校の総合化の検討など、全市的な視野に立った、特別支援教育の体制整備を進める。

## ② 学校・教職員の力を高める

#### ○信頼される学校・園経営の推進

- ・各学校の現状や課題に応じて市費講師を柔軟に活用できる環境づくりを進めるとともに適切な配置を行い、学校・教職員を支援する。
- ・スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーの派遣の充実など、体制の整備を図るとともに、「いじめ防止対策推進法」を踏まえた、いじめ防止等のための対策を総合的かつ効果的に推進する。

- ・「体罰防止のための手引き」を研修等で活用することにより体罰のない学校づくりを進める。

#### ○教育環境の整備

- ・学校施設耐震化の平成 27 年度完了に向けて、さらなる耐震化を図るとともに、学校体育館の防災機能を強化することにより、安全で安心な学校施設を整備する。また、普通教室等への扇風機の設置など、充実した教育活動につながる快適な教育環境の整備を進める。
- ・学校規模に起因する様々な課題について、市民とともに理解を深めるためのリーフレットを作成するなど、今後の学校規模適正化に向けた環境整備を行う。また、学研地区における小学校の新設に向け準備を進める。

### ③ 家庭・地域の教育力を高める

#### ○家庭における教育・生活習慣づくりの充実

- ・家庭教育に関する情報提供、啓発活動を通して、保護者の学ぶ機会の充実を図るとともに、新たに作成した「家庭学習チャレンジハンドブック」を活用して、家庭での学習習慣等の定着を推進する。

#### ○地域と連携した学校運営の実現

- ・経済界との連携による学校支援モデル事業の対象校を拡大するなど、経済界等が学校を支援する取組みを進める。また、学校支援地域本部などのさらなる充実を図り、学校教育への地域の参画を促す。

#### ○地域における教育活動の充実

- ・地域における教育活動の充実を図るため、関係局とも連携して活動団体への支援、地域や団体活動に多くの市民が参画できる仕組みづくりを推進する。
- ・インターネット上の「掲示板」サイト等の巡回監視等を行うとともに、児童生徒、教職員、保護者を対象としたインターネット・リテラシー向上のための研修や啓発を行い、ネットトラブル等の早期解決や未然防止を図る。

## 生涯学習に関する分野

### ① 市民がいきいきと学び合える環境の整備

#### ○学習機運の醸成と多様な学習機会の充実

- ・市民の生涯学習意欲を高めるとともに、市民一人ひとりが生きがいと自己実現を実感でき、あわせて住民主体の地域活動を推進するため、生涯学習市民講座など様々な学習機会の提供を充実する。

#### ○学習を支える体制づくり

- ・中央図書館の耐震補強工事など、生涯学習関連施設の整備・充実を図るとともに、市内の高等教育機関や NPO などとの連携強化を図り、学習機会の提供や地域活動の活発化を図る。

### ② 地域活動をリードする人材の育成

#### ○人材の育成・学びの成果と活用

- ・コムシティ内の8施設で構成され、本市の「人づくり支援機能」の中核である「北九州ひとみらいプレイス」において、八幡西生涯学習総合センターが中心となり、人材育成事業を実施する。
- ・地域課題解決に向けた講座等を実施し、市民ニーズや社会ニーズを踏まえた地域活動をリードする人材の育成を図る。
- ・市民が企画・提案する学習を支援することにより、自発的な学習を促すとともに、生涯学習活動の成果を活かせる機会を促進する。

### ③ 学校、家庭、地域との連携強化

#### ○学校教育・家庭教育への支援、連携強化

- ・学校支援地域本部事業等の地域による学校の教育活動への支援を通して、学校と地域との連携の促進を図る。
- ・地域・子ども交流事業など、子どもの異学年交流や体験活動など地域における教育活動の充実を行い、家庭・地域の教育力の向上を図る。
- ・すべての教育の出発点である家庭の教育力の向上をめざし、子育てサポーターなどの活動を通じて保護者の不安の軽減を図るとともに、家庭教育に関する保護者への情報提供や啓発活動の充実を図る。

## 2 重点的に取り組みを行う主なもの

### 子どもの教育に関する分野

#### (1) 思いやりの心をもつ、自立した子どもをはぐくむ

I-1  
継 続

- ・心の教育推進事業

9,040 千円

(事業概要)

いじめや不登校をはじめとした子どもたちの問題行動や、人間関係を築けない児童生徒に対応するため、社会性や規範意識、思いやりの心など豊かな人間性を育む道德教育・体験活動を推進する。

I-1  
継 続

- ・新たな人権教育教材集の作成

12,713 千円

(事業概要)

文部科学省が策定した「人権教育の指導方法等の在り方について[第三次とりまとめ]」に示された指導方法や人権課題に対応した「新たな人権教育教材集」及び「指導書」を作成し、各学校に配布する。

I-1  
拡 充

- ・いじめ対策の充実

9,548 千円

(うち拡充分 6,548 千円)

(事業概要)

「いじめ防止対策推進法」の趣旨を踏まえ、いじめ対策を充実していく上での体制整備を図るとともに、いじめ問題に関する普及・啓発活動の充実や、児童生徒の円滑な人間関係構築のための「北九州市対人スキルアッププログラム」の作成等により、いじめ対策の充実を図る。

I-1  
新 規

- ・「(仮称) こどもひまわり学習塾」事業

33,716 千円

(事業概要)

基礎的・基本的な学力の確実な定着を図るため、学校の希望を募り、小学校3年生から6年生を対象に、放課後等を活用した「(仮称) こどもひまわり学習塾」を実施する。

I-1  
拡 充

・ 学校の読書活動推進事業

99,667 千円  
(うち拡充分 42,667 千円)

(事業概要)

中学校区に配置する学校図書館嘱託職員やブックヘルパーの充実を図り、学校における読書活動を推進する。

I-1  
継 続

・ 部活動振興費

103,453 千円

(事業概要)

市立学校の部活動振興のため、外部講師や設備、部活動用品等を充実するなど、生徒が部活動に打ち込める環境を整備する。

I-1  
継 続

・ 英語教育の充実

<債務負担行為 278,338 千円>  
359,959 千円

(事業概要)

英語・外国語活動の指導を充実させるため、全小中学校に外国語指導助手(ALT)を配置し、英語を使ったコミュニケーション活動を推進する。

また、本市中学3年生全員を対象に新たに英語能力判定テストを実施し、その分析結果を英語指導の改善や自己学習の強化に活用する。さらに、海外の英語学習施設へ中学生を派遣し、英語学習への意欲・関心を高める。

I-1  
継 続

・ 環境教育推進事業

19,615 千円

(事業概要)

OECDレポート「北九州のグリーン成長」においても評価された「環境改善に向けた市民参加の伝統」を次世代へ継承するため、環境施設等における体験を重視した環境教育を推進し、あらゆる環境活動に主体的に取り組むことができる子どもを育成する。

また、学校のユネスコスクールへの登録を推進するなど、環境教育の発展を目指す。



I-1  
継 続

- 牛乳パックリサイクルによる環境教育モデル事業  
1,818 千円

(事業概要)

「環境未来都市」としての取組みを推進している本市において、子どもたちが身近に感じ実践できる環境教育の推進のため、主体的に取り組む学校を拡大する。

I-1  
拡 充

- 東部地域における特別支援学校の整備  
＜債務負担行為 2,524,332 千円＞  
762,110 千円  
(うち拡充分 482,110 千円)

(事業概要)

市内東部地域における知的障害の児童生徒数の増加への対応などのため、門司区に新設する知的障害と病弱(心身症等)を対象とした特別支援学校の、校舎新築工事等に着手する。

I-1  
新 規

- 総合療育センター再整備に伴う特別支援学校整備事業  
＜債務負担行為 383,470 千円＞  
301,323 千円

(事業概要)

総合療育センターの再整備に伴い、企救特別支援学校及び北九州特別支援学校の校舎について、再整備を行うため、基本・実施設計及び本体工事に着手する。

I-1  
継 続

- 特別支援学校における緊急時対応体制整備事業  
19,441 千円

(事業概要)

肢体不自由特別支援学校に看護師を配置し、児童生徒の医療的ケアや緊急時の対応体制を整備するとともに、介護保険法等の改正を踏まえ、学校における医療的ケアのあり方を検討する。

## (2) 学校・教職員の力を高める

I-1  
継 続

- ・ 学校支援のための市費講師配置事業

539,200 千円

(事業概要)

学力向上、いじめ・非行対策など、学校の課題や状況に柔軟に対応し、学校運営を円滑に進めていくため、市費講師を配置する。

I-1  
継 続

- ・ 不登校・いじめ対策の充実

【一部再掲】 197,579 千円  
(うち拡充分 9,067 千円)

(事業概要)

「いじめ防止対策推進法」の趣旨を踏まえ、いじめ対策を充実していく上での体制整備を図るとともに、スクールソーシャルワーカーを増員し、不登校など問題を抱える児童生徒への支援体制の充実を図る。

また、いじめ対策にもつながる児童生徒の社会性や規範意識を育むため、道徳教育・体験活動を推進する。

I-1  
継 続

- ・ 耐震補強事業

<債務負担行為 408,520 千円>  
2,015,184 千円

(事業概要)

学校施設に必要な耐震性を確保するため、施設の耐震化を図る。耐震診断の結果、耐震補強が必要な校舎等は耐震補強計画及び耐震補強工事を順次実施する。

I-1  
拡 充

- ・ 学校体育館防災機能強化推進事業

143,811 千円

(うち拡充分 20,811 千円)

(事業概要)

学校体育館は、災害時の避難所や地域の行事、スポーツ活動の拠点としての機能を備えていることから、高齢者や障害者に配慮したトイレやスロープの改修などを行い、日常の利便性を向上させるとともに防災機能の強化を図る。

I-1  
新規

- ・天井等非構造物落下防止事業

247,978 千円

(事業概要)

災害時の避難所でもある学校施設の安全と安心を確保するため、学校体育館や武道場等の非構造部材について落下防止を図り、必要に応じて計画的に、補強や改修工事を実施する。

I-1  
拡充

- ・学研地区における小学校新設事業

893,139 千円

(うち拡充分 882,139 千円)

(事業概要)

北九州学術研究都市整備事業の進捗による児童数の急増に対応するため、学研地区に新設する小学校の用地取得及び基本・実施設計を行う。

I-1  
拡充

- ・普通教室等扇風機設置事業

135,360 千円

(うち拡充分 72,360 千円)

(事業概要)

教室における夏季の暑さ対策の一環として、計画的に全ての普通教室等に扇風機を設置する。

### (3) 家庭・地域の教育力を高める

I-1  
継続

- ・経済界との連携による学校支援モデル事業

【再掲】5,000 千円

(事業概要)

経済界と連携することで、企業が持つ人材や経営のノウハウなどを生かし、出前授業や児童向けの体験学習、教職員を対象とした研修への講師派遣などに有効活用する。平成26年度からは、対象校を段階的に拡大して取り組む。

I-1  
拡 充

- ・学校支援地域本部事業

【再掲】25,200 千円  
(うち拡充分 8,400 千円)

(事業概要)

教員が子どもと向き合う時間の拡充や地域の教育力の向上を図るため、地域の協力のもと、学習支援をはじめ様々な学校の教育活動を支援する「学校支援地域本部事業」の実施校を拡大する。

I-1  
新 規

- ・「(仮称) こどもひまわり学習塾」事業

【再掲】33,716 千円

(事業概要)

基礎的・基本的な学力の確実な定着を図るため、学校の希望を募り、小学校3年生から6年生を対象に、放課後等を活用した「(仮称) こどもひまわり学習塾」を実施する。

I-1  
継 続

- ・ネットトラブル等防止及び啓発・研修事業

9,947 千円

(事業概要)

インターネット上のサイトにおけるいじめや非行行為等の問題行動に対応するため、インターネット上の「掲示板」サイト等の巡回監視や学校への技術的なサポートを行う。

また、近年社会問題となっている無料通話アプリに関連したトラブル防止を含むインターネット・リテラシー向上のための研修を児童生徒や保護者、教職員を対象に行い、啓発と教職員の対応力向上を図る。

## 生涯学習に関する分野

### (1) 市民がいきいきと学び合える環境の整備

I-3  
新 規

- ・中央図書館耐震補強工事

13,533 千円

(事業概要)

利用者の安全な施設環境の確保を図るため中央図書館の耐震補強工事を実施する。

## (2) 地域活動をリードする人材の育成

I-3  
拡 充

- ・北九州ひとみらいプレイス事業

7,166 千円

(うち拡充分 1,166 千円)

(事業概要)

コムシティ内の各種施設が連携して、本市の人づくり機能の新たな展開を目指すとともに、副都心黒崎の賑わいづくりを行う。

## (3) 学校、家庭、地域との連携強化

I-1  
継 続

- ・経済界との連携による学校支援モデル事業

5,000 千円

(事業概要)

経済界と連携することで、企業が持つ人材や経営のノウハウなどを生かし、出前授業や児童向けの体験学習、教職員を対象とした研修への講師派遣などに有効活用する。平成 26 年度からは、対象校を段階的に拡大して取り組む。

I-1  
拡 充

- ・学校支援地域本部事業

25,200 千円

(うち拡充分 8,400 千円)

(事業概要)

教員が子どもと向き合う時間の拡充や地域の教育力の向上を図るため、地域の協力のもと、学習支援をはじめ様々な学校の教育活動を支援する「学校支援地域本部事業」の実施校を拡大する。

その他

I-1  
新 規

- ・「子どもの未来をひらく教育プラン」(改訂版) 啓発事業

5,123 千円

(事業概要)

平成 26 年度にスタートする教育プラン(改訂版)について、学校・家庭・地域を挙げた取組みとなるよう、広報啓発用ポスター、リーフレット等を作成し、市民への周知を図る。

I-1  
新規

・生涯学習推進計画次期計画の策定

3,126 千円

(事業概要)

現行の「生涯学習推進計画」が平成 27 年度に終了することから、平成 26 年度から平成 27 年度にかけて次期計画策定のためのアンケート調査および検討委員会を開催する。